

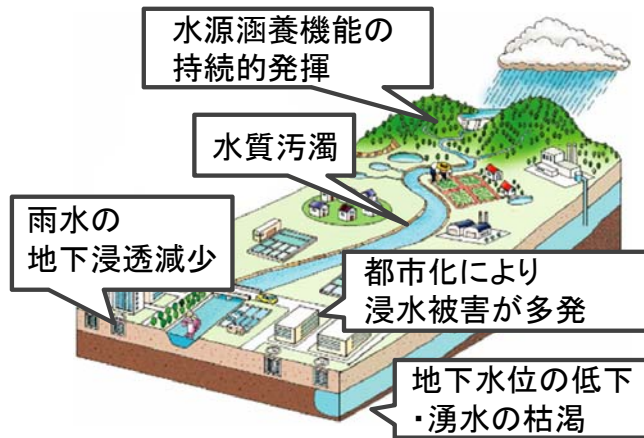
先進的な流域マネジメントに関するモデル調査

平成31年3月12日

内閣官房 水循環政策本部事務局

先進的な流域マネジメントに関するモデル調査について

水循環に関する課題の例



健全な水循環の維持・回復に向けた流域連携の枠組み
(水循環基本計画で提案)

流域マネジメント

- 「流域水循環協議会」を設立
- 「流域水循環計画」を策定
- 計画に基づき、水循環に関する施策を推進

手引き・事例集等
により全国的に推進

流域マネジメントを推進する上での課題

○既往の取組みから分かった課題

- 協議会の運営や計画策定のノウハウ不足(水循環は関係者が広範に及び、利害も複雑)
- インセンティブが見出しにくい
- 予算確保が困難
- 活動の持続性・継続性

モデル調査により解決策を抽出

○実地におけるモデル調査の実施を通じて、成功へのヒントを抽出

- 広範かつ利害が対立する関係者間の円滑な合意形成手法
- 計画策定のメリット設定及び関係者間での共有手法
- 民間団体からの投資の誘導策手法 ・ 計画策定及び実施に関する各組織・関係者の役割・責任分担

平成28年度よりモデル調査を開始。平成29年度は6地区、平成30年度は鹿児島県(錦江湾)・安曇野市(松本盆地)・千葉県(印旛沼)の3地区を対象にモデル調査を実施。

財源確保策の事例①(民間事業者による水辺拠点の整備・運営)

Park PFI

- 飲食店、売店等の公園利用者の利便の向上に資する公募対象公園施設の設置と、当該施設から生ずる収益を活用してその周辺の園路、広場等の一般の公園利用者が利用できる特定公園施設の整備・改修等を一体的に行う者を、公募により選定する「公募設置管理制度」。
- 平成29年の都市公園法改正により新設。平成31年3月現在、全国で22事例、うち千葉県では千葉市において3事例が実施されている(Park-PFI推進支援ネットワークPPnetによる)。

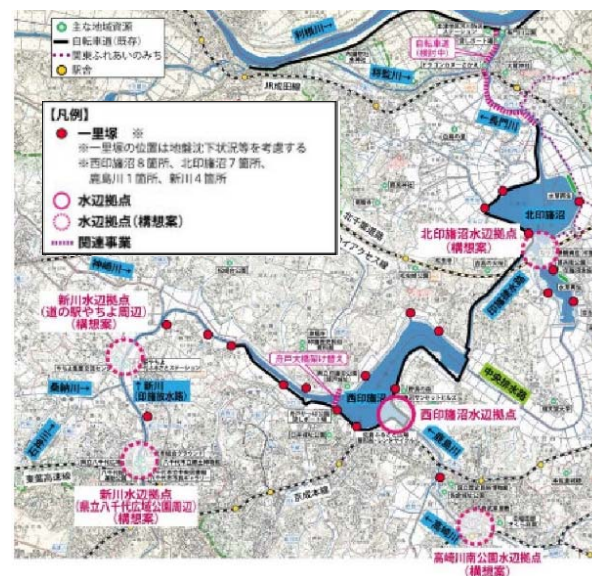
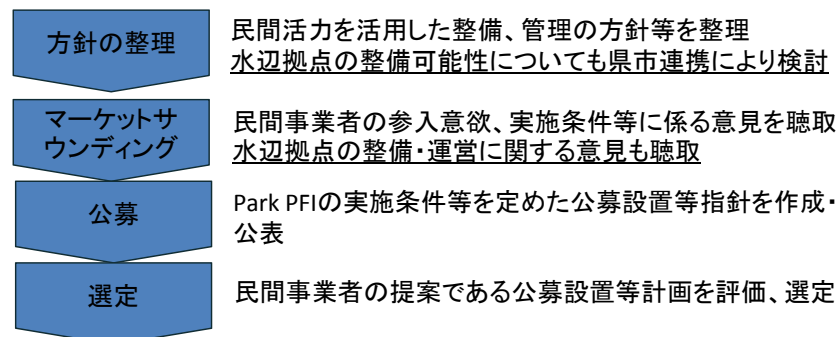


Park PFIのイメージ

印旛沼かわまちづくり計画におけるPark PFIによる水辺拠点の整備・運営

都市計画施設(公園・緑地)にPFIが適用される場合(Park PFI)に、民間事業者が水辺拠点(船着場等)やその付帯施設を整備し、地元団体等と連携して利活用、管理を行う。

想定される事業者選定までの流れ



印旛沼かわまちづくり計画における水辺拠点等の位置図

財源確保策の事例②(ふるさと納税)

クラウドファンディング型ふるさと納税

- 地方自治体が実行者としてプロジェクトを立ち上げ、ふるさと納税による寄付をクラウドファンディングを利用して集める手法。
- ふるさと納税と同様に、プロジェクトへの寄附者は、所定の手続きを行うことで、寄附金額の一部が所得税及び住民税から控除を受けることが可能。
- 平成30年頃から全国各地の地方自治体により実施。

クラウドファンディング型ふるさと納税の主な事例

| 自治体名 | プロジェクト名 | 集まった金額 (目標金額) 寄附者数 |
|-------------|---|---------------------------------------|
| 北海道 紋別市 | 日本で唯一のアザラシ保護施設「とっかりセンター」を応援しよう！ | 2,686,000円 (2,000,000円) 249人 |
| 新潟県 妙高市 | 日本最北源「火打山のライチョウ」を絶滅から救いたい！ | 1,329,000円 (1,300,000円) 214人 |
| 大阪府 岬町 | いきいきパークみさき(土砂採取跡地)に子どもたちが楽しめる大型遊具のある公園をつくろう | 113,702,000円 (50,000,000円) 895人 |
| 岡山県 西粟倉村 | 魚も川ガキもない、そんな川いやだ！西粟倉村が川の再生モデルになってみせる！ | 1,318,000円 (1,000,000円) 106人 |
| 高知県 高知市 | 鏡川の源流の森の再生へ 龍馬が泳いだ美しい鏡川を未来へ残す | 1,301,000円 (1,300,000円) 66人 |

環境学習、河川の水質調査への適用

募集広告(案)

目的

- 印旛沼流域に住んだり、印旛沼の水を飲んだりしている子どもたちに、印旛沼の水環境の大切さを知ってもらうため、より多くの小中学生に印旛沼を訪れ、印旛沼や身近な川や水環境の学んでもらう

資金使途

1. 小中学生の環境学習に
2. 河川の水質調査に

返礼品の例

- ちばエコ農産物
- 印旛沼舟運ツアー
- 印旛沼産うなぎ



写真出典: いんばぬま情報広場HP